

第8回戦術委員会確認事項

2017年4月19日
全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日10時より第8回戦術委員会を開催し、回答状況の把握を行うとともに、JC共闘の今後の進め方を確認した。

1. JC共闘の全体集計は、4月4日の発表以降、次回は4月26日集計予定となっているが、本日段階において各産別が把握している回答状況を見ると、おおむね要求提出組合の7割で回答を引き出し、回答引き出し組合の半数を超える組合が賃上げを獲得している模様である。

2014年闘争以降、3年間賃上げを獲得できなかった組合においても、賃上げを獲得する動きが見られ、賃上げ獲得の裾野が広がっているものと判断される。また全体として、中小労組の賃上げ額が大手労組の賃上げ額を上回る傾向が続いており、賃金の底上げ・格差是正の取り組みが前進している。

2. 金属労協は、中小労組の賃上げ獲得と、大手労組を上回る回答を引き出す流れを着実なものとするべく、後に続く組合の取り組みをJC共闘全体で支えていく。

また、賃金の底上げを図るため、非正規労働者に関する取り組みや、企業内最低賃金協定の締結拡大・水準引き上げをさらに前進させる。企業内最低賃金協定の取り組みの成果を未組織労働者も含めた金属産業で働く者全体に波及させるため、特定(産業別)最低賃金の引き上げ・新設に取り組む。

労働時間短縮をはじめとする働き方改革の取り組みについては、職場実態に即した制度づくりとその運用を図るべく、さらに労使協議を重ねていく。

金属労協は、引き続き共闘体制を維持し、各組合は、産別指導の下、精力的に交渉を展開し、速やかに決着を図ることとする。

3. 4月下旬段階の金属労協全体の闘争状況は、4月26日(水)に集計を行い、公表する。
次回第9回戦術委員会は、5月30日(火)午前10時より開催する。

以上